

# とちぎ女性活躍応援団 キックオフ大会

～オールとちぎで未来を変える～

- 目 報告書 -



平成28年12月発行

編集：栃木県/(有)フェードイン

発行：栃木県 県民生活部 人権・青少年男女参画課

〒320-8501 宇都宮市塙田1-1-20

TEL 028-623-3074

FAX 028-623-3150

E-mail [seishonen-danjo@pref.tochigi.lg.jp](mailto:seishonen-danjo@pref.tochigi.lg.jp)

## 目次

はじめに	..... P.03
とちぎ女性活躍応援団とは？	..... P.04-P.05
とちぎ女性活躍応援団に登録しませんか？	..... P.06
とちぎの女性活躍応援サイト ～とちぎウーマンナビ～	... P.07
とちぎ女性活躍応援団キックオフ大会	
(1) 実施概要とプログラム	..... P.08
(2) 内容のまとめ	..... P.09-P.10
(3) アンケート分析結果	..... P.11-P.13
(4) 広報資料等	..... P.14-P.15

## はじめに

### とちぎ女性活躍応援団キックオフ！ ～ オールとちぎで未来を変える ～

人口減少・超高齢社会が到来するなか、県民誰もが意欲と能力に応じ、活躍できることが何より重要であり、その中でも、女性が持つ潜在的な能力や特有の感性・経験を、職場や家庭、地域の様々な分野で発揮できることが、社会の活力を高める大きな原動力になると考えられます。

県では、女性の活躍を推進することは、すべての県民がいきいきと輝く、暮らしやすい社会の実現につながるとの考えから、平成28年度からスタートした「とちぎ元気発信プラン」に「輝く女性活躍推進プロジェクト」を掲げ、あらゆる場面における女性の活躍促進はもとより、これまでの働き方を見直し、ワーク・ライフ・バランスを推進することを大きな柱として、女性が希望に応じて、個性と能力を発揮できる環境づくりに積極的に取り組むこととしたところです。

このプロジェクトを推進する際の中核として、企業、団体、行政等のあらゆる組織が連携し、オール栃木体制で、女性の活躍を様々な角度から支援していく「とちぎ女性活躍応援団」を新たに設立し、県内全域、各分野にわたる機運の醸成と、各企業、団体等における取り組みの促進を図っていくこととしました。

本書では、とちぎ女性活躍応援団の概要と仕組みのほか、とちぎ女性活躍応援団の設立を記念して、女性の活躍推進や働きやすい職場づくりに率先して取り組むことの重要性について、企業の経営者をはじめ、すべての県民に向けて発信した「とちぎ女性活躍応援団キックオフ大会」の結果を取りまとめて、紹介しています。

県内企業・団体の皆様には、ぜひ、この取り組みに賛同し、とちぎ女性活躍応援団の会員として、女性の活躍推進と働き方改革に積極的に取り組んでいただき、「女性がいきいきと活躍できる“とちぎ”」、そして、「すべての県民がいきいきと輝く、暮らしやすい社会」の実現を目指す一員となってくださることを願っております。

さあ、今こそ、力を合わせてオールとちぎで未来を変えていきましょう！

# とちぎ女性活躍応援団とは？

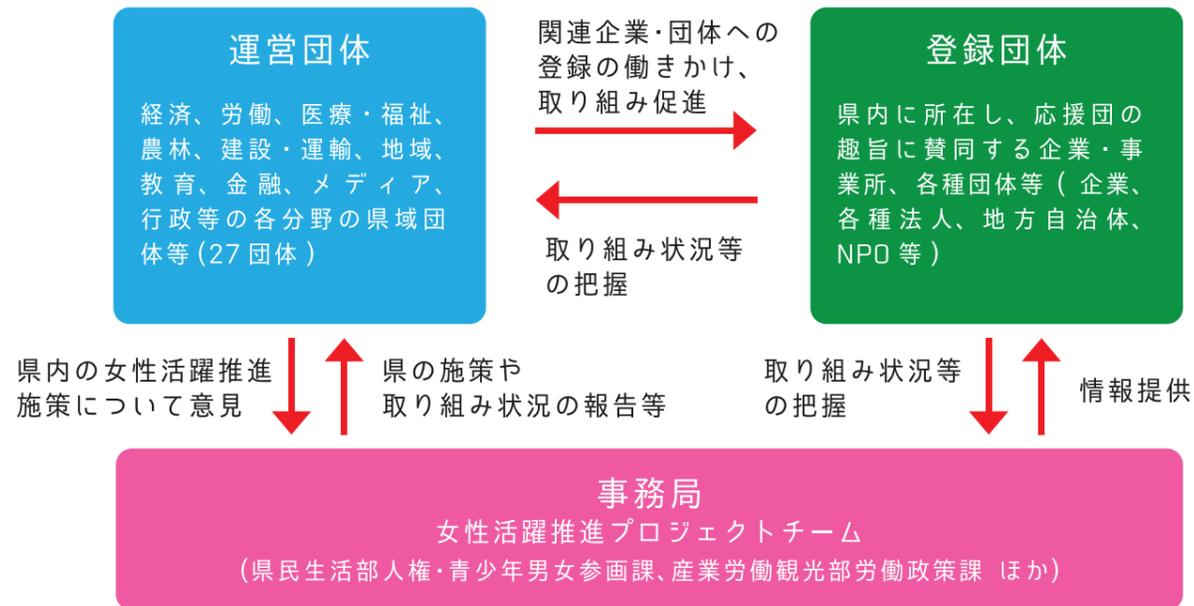
## ○ とちぎ女性活躍応援団とは？

とちぎ女性活躍応援団とは、知事をトップに、官民協働によるオール栃木体制で働き方改革や女性の活躍を推進するものです。

産学官を始め、労働、医療・福祉、農林、建設・運輸、金融等様々な分野の県域をカバーする27の団体や企業が設立・運営に携わり、趣旨に賛同して会員となった県内所在の企業等と一体となって応援団を構成しています。

## ○ とちぎ女性活躍応援団の仕組み

代表：栃木県知事



## ○ 主な取り組み内容

- ・県内における女性の活躍に関する推進方策の検討
- ・県内の企業・団体等に対する普及・啓発(講演会やシンポジウムの開催 など)

## ○ とちぎ女性活躍応援団運営団体

以下の表にある、様々な分野の県域をカバーする27の団体や企業が、運営団体として一体となり、応援団の運営を行い、女性の活躍や働き方の見直しに関する取り組みを進めることとしています。

分野	団体名 (計27団体)
経済	(一社)栃木県経営者協会、(公社)栃木県経済同友会、(一社)栃木県商工会議所連合会、栃木県商工会連合会、栃木県中小企業団体中央会
労働	日本労働組合総連合会栃木県連合会
医療・福祉	(一社)栃木県医師会、(公社)栃木県看護協会、(社福)栃木県社会福祉協議会
農林	栃木県農業協同組合中央会、栃木県農業者懇談会、栃木県林業振興協会
建設・運輸	栃木県建設産業団体連合会、(一社)栃木県トラック協会
地域	栃木県自治会連合会、栃木県女性団体連絡協議会
教育	国立大学法人宇都宮大学、学校法人宇都宮学園文星芸術大学
金融	(株)足利銀行、(株)栃木銀行
メディア	(株)下野新聞社、日本放送協会宇都宮放送局
行政等	栃木労働局、栃木県、栃木県市長会、栃木県町村会、(公財)とちぎ男女共同参画財団

## ○ とちぎ女性活躍応援団登録団体

県内に所在し、とちぎ女性活躍応援団の趣旨に賛同する企業・団体等(企業、各種法人、NPO、地方自治体等に加え、法人格のない団体も登録可能です。)

とちぎ女性活躍応援団 登録団体数 147団体(平成28年12月20日現在)

## ○ とちぎ女性活躍応援団行動アピール

とちぎ女性活躍応援団の活動について、「行動アピール」を決定しました。

私たちは、「女性がいきいきと活躍できる"とちぎ"」の実現に向け、率先して、次のことに取り組みます。

- 一、女性も男性も、職場・家庭・地域で、自らの個性と能力を十分に発揮し、活躍できるよう、働き方の見直しや環境の整備を進めます。
- 一、男女が共に輝くことができるよう、それぞれの意識の改革を促すとともに、女性のチャレンジを支援します。
- 一、応援団の行動が県内全域に広がるよう、さまざまな機会を生かして、機運の醸成を図ります。

## とちぎ女性活躍応援団に登録しませんか？

### ○ 応援団への登録の方法は？

- 1 とちぎの女性活躍応援サイト「とちぎウーマンナビ」内の、とちぎ女性活躍応援団登録フォームから登録できます。

・【PC】  で検索ください。

・【携帯】 右のQRコードからアクセスください。



- 2 県HPからダウンロードした登録用紙に記入の上、FAX・郵送・メール等で応援団事務局(栃木県 人権・青少年男女参画課)へ送付してください。

県HP  で検索ください。

※とちぎ女性活躍応援団としてふさわしくないと認められる行為があった場合には、登録を取り消させていただきます。

### ○ 応援団に登録すると、取り組みを後押しするたくさんのメリットが！

- 1 女性活躍推進の取り組みを「とちぎウーマンナビ」から発信！
- 2 メールマガジンにより研修やイベントなどの女性活躍推進に関する情報を先取り！
- 3 就職説明会などで応援団の登録証やミニのぼり旗を活用してイメージアップ！
- 4 「ロゴマーク」を活用して、名刺やHPなど、様々な用途でPR！



## とちぎの女性活躍応援サイト～とちぎウーマンナビ～

### ○ とちぎウーマンナビってどんなサイト？

県では、職場・家庭・地域などあらゆる場で女性の活躍が進み、男性も女性もいきいきと暮らせる社会の実現を目指すため、とちぎの女性活躍応援サイト「とちぎウーマンナビ」を開設しました。

「とちぎウーマンナビ」は、「とちぎ女性活躍応援団」の取り組みを紹介するほか、様々な分野・ステージごとに女性のニーズにあった支援情報の総合的な提供や、多様な主体による双方向の情報交換を通じて、とちぎの女性の活躍をみんなで応援することを目的としています。

この「とちぎウーマンナビ」を通じて、地域におけるイベントやセミナー、お知らせ、輝く女性のインタビュー記事などをどんどん発信していきます！

### ○ さあ、とちぎウーマンナビを見てみよう！

とちぎのすべての女性のための活躍応援ナビ  
**TOCHIGI WOMAN NAVI**

「とちぎウーマンナビ」の合い言葉は「ONE-UP! WOMAN」  
「気分を上げたい時」、「やる気を貰いたい時」、「課題に行き詰まった時」など、女性の活躍を PUSHU するたくさんの支援情報をお届けします。



詳しくは



# とちぎ女性活躍応援団キックオフ大会 ～オールとちぎで未来を変える～

## (1) 実施概要とプログラム

### 目的

女性の活躍を含めた働き方改革にオール栃木体制で取り組む「とちぎ女性活躍応援団」の設立に当たり、応援団を広く周知するとともに、趣旨に賛同する企業・団体等の応援団への登録を促進し、女性の活躍推進や、働きやすい職場づくりに率先して取り組むことの重要性について、企業の経営者をはじめとしたすべての県民に向けて発信するため、「とちぎ女性活躍応援団キックオフ大会」を開催しました。

### 日時・開催会場

- 平成28年9月14日(水) 15時00分～17時30分(受付14時30分～)
- 栃木県総合文化センター サブホール(宇都宮市本町1-8)

### 内容

#### 【第1部】 記念式典

- ①主催者あいさつ
- ②来賓祝辞
- ③来賓紹介
- ④応援団運営団体紹介
- ⑤応援団行動アピールの唱和

#### 【第2部】 キックオフイベント

##### ①基調講演

基調講演A 「女性が活躍する未来へ」

講師:中野 円佳氏 (チェンジウェーブ)

基調講演B 「イクボスで、成果と笑顔が共にアップ」

講師:川島 高之氏 (NPO法人コチカラ・ニッポン代表/NPO法人ファザーリング・ジャパン理事/三井物産系の上場会社元社長)

##### ②パネルディスカッション

「企業の成長につなげる女性の活躍推進」

パネラー: 中野 円佳氏 (チェンジウェーブ)

伊藤 綾氏 (㈱リクルートホールディングス)

田村 篤史氏 (シーデーピージャパン(株)代表取締役社長)

司会・コーディネーター:工藤 敬子氏 ((有)フェードイン代表)

質疑応答

## (2) 内容のまとめ

### 【第1部】 記念式典



主催者あいさつ  
栃木県知事 福田 富一



来賓祝辞  
栃木県議会議員 五月女 裕久彦氏



応援団行動アピールの唱和

### 【第2部】 キックオフイベント

#### 基調講演A 「女性が活躍する未来へ」



講師

中野 円佳氏

女性活用ジャーナリスト/研究者 (チェンジウェーブ)

ポイント

女性活躍といったときに、女性をただ登用すればよいというわけではなく、まずは女性の数を一定数確保することで、その人それぞれが持っている様々な経験や価値観・知識など女性の多様性も確保されます。男女ともに多様な能力が個として活かされてくると、イノベーションが生まれ、女性の能力が活かされる組織につながります。

これからは、家事代行やベビーシッターなど子育てサービスを活用させれば働き手の支援と新たな雇用につながります。また、リモートワークで働けば子育てしたい地域を自ら選択でき、諦めずに働き続けることもできます。女性活躍を実現するためには、色々な方向から進めていくことが大切です。

#### 基調講演B 「イクボスで、成果と笑顔が共にアップ」



講師

川島 高之氏

NPO法人コチカラ・ニッポン代表/NPO法人ファザーリング・ジャパン理事/三井物産系の上場会社元社長

ポイント

女性活躍だけ進めても成功はしません。組織の中で、「女性活躍」と「イクボス」と「イクメン」この3点セットで進めていかないとダメです。

イクボスの存在は全ての組織に求められています。イクボスが多い組織では、社員の働く意欲や仕事の能力がアップしたり、新たなモノの考え方が組織に生まれ、生産性の向上と利益拡大につながるなど、ワーク・ライフ・バランスと成果アップという相乗効果が生まれます。

管理職が、仕事もプライベートでのやりたいことも全部やるんだと、人生を欲張る貪欲さを持ち、自らが変わっていけば、組織も変わっていきます。

パネルディスカッション「企業の成長につなげる女性の活躍推進」



パネラー  
中野 円佳氏  
(チェンジウェブ)



パネラー  
伊藤 綾氏  
(株)リクルートホールディングス



パネラー  
田村 篤史氏  
(シーデーピージャパン副代表取締役社長)



司会・コーディネーター  
工藤 敬子氏  
(有)フェードイン代表



ポイント

Q1 女性のワークスタイルが変化するなか、女性活躍ということではどのようなステップを踏みながら今の状態までもっていったのでしょうか？

A. 伊藤氏 例えば、社内に託児所をつくり、保育園になかなか入れない待機児童のセーフティネットの役割をするとか、ベビーシッターのサービスを少し安く受けられるとか、まずは、両立支援から始めていきました。

A. 田村氏 女性社員が増えたことで、出産であったり子育てであったり、そういったことへの対応が必要になりました。我々企業側が一番実践していったことは、制度を状況に合わせて変えていったということです。

A. 中野氏 10年以上前から取り組み、7、8年かけて進めてきた企業は、おふたりのように、まずは両立支援から入って、そこから均等推進で、いま働き方改革というステップを踏まざるを得ませんでした。ただ、今から取り組みを進める企業は、いっぺんにやって欲しいと思っています。いきなり男性の両立支援を一緒に入るとか、働き方そのものを見直してきちんとキャリアを積める環境を作ったり、様々なチャレンジができるなどの制度を導入したり、今までやってきた企業を飛び越して進める必要があると思います。

Q2 女性活躍が経営に結び付く成果はどのようなところだと感じていますか？

A. 伊藤氏 女性の採用を増やし制度を変えていくにつれて、離職率が大幅に下がっていきました。優秀な人材も定着していきました。また、社内教育にかかる費用もかからなくなり、コスト削減にもつながりました。

A. 田村氏 まず、ワーキングマザーが増え、貴重な人材が残って活躍してくれるようになりました。そして、女性の視点から様々なサービスや事業が生まれました。成果の見える化として、定期的に従業員の満足度調査としてアンケートを実施しています。アンケート結果からも従業員満足が上がっており、仕事のモチベーションアップが会社の利益へ還元されています。

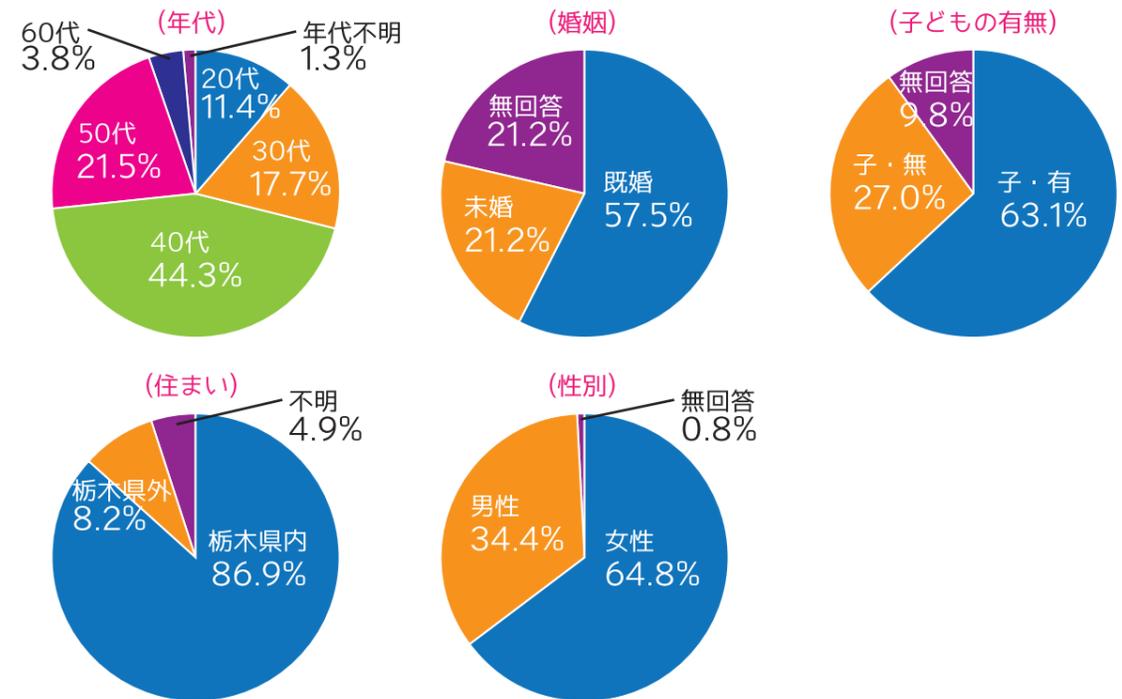
A. 中野氏 なかなか成果として見えにくいということもありますが、私はダイバーシティ・インクルージョンということをよく言っています。せっかく多様な人材がいても、組織に同化させてしまってはもったいないです。個人個人の持っている多様性が発揮できる、様々な視点から意見がもらえる環境や、その人が経験として持っているスキルを出していける環境があるということ、日々の実感として感じられるということも一つの成果としていえると思っています。

(3) アンケート分析結果 (参加者257名中 122名回答 回答率47.5%)

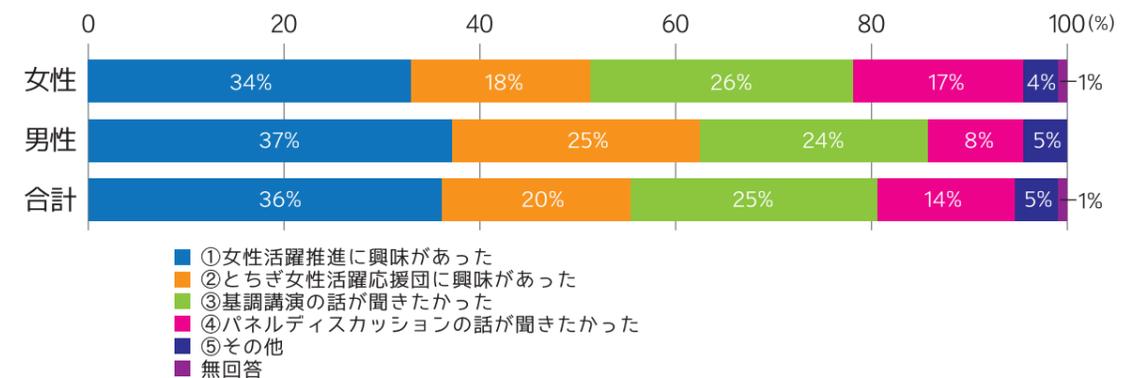
① 参加者数

イベント参加者	257名
(内訳) 事前申込者	237名
当日受付	20名

② 参加者について

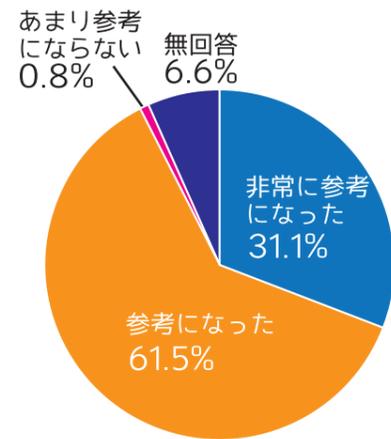


③ イベント参加理由

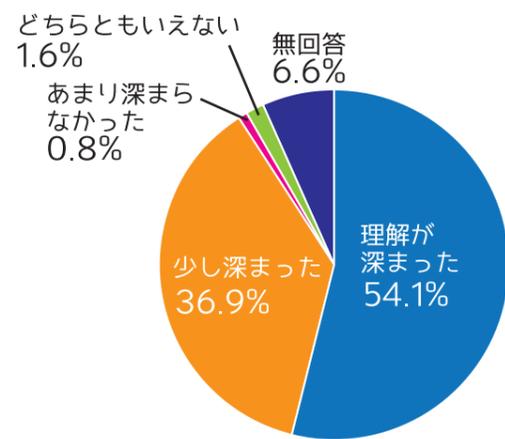


その他意見  
・次世代の子供たちがより良い環境で生活していくため  
・仕事上で関連があるから  
・応援団の中の一団体である など

④ イベントの参加後の感想

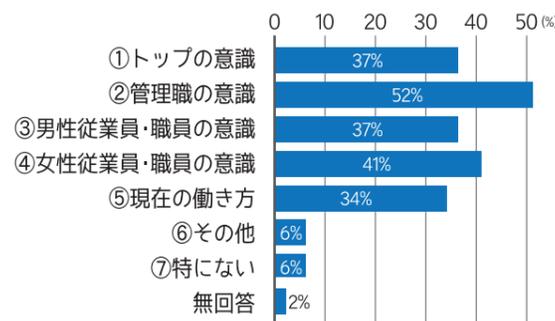


⑤ 女性活躍への理解は深まったか

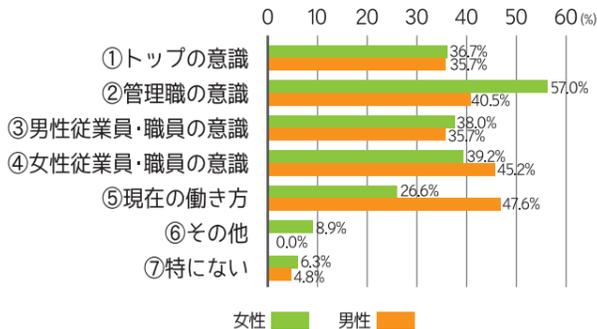


⑥ 女性活躍への取り組みを進めるときに、障壁と感じていること (複数回答)

女性活躍への障壁となること(全体)

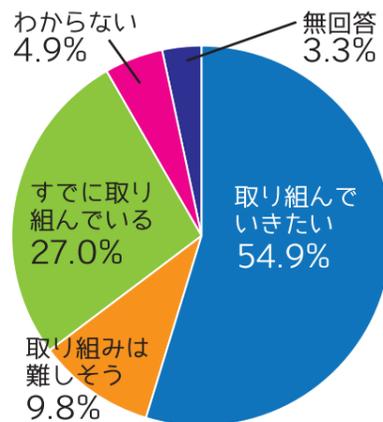


女性活躍への障壁となること(男女別)

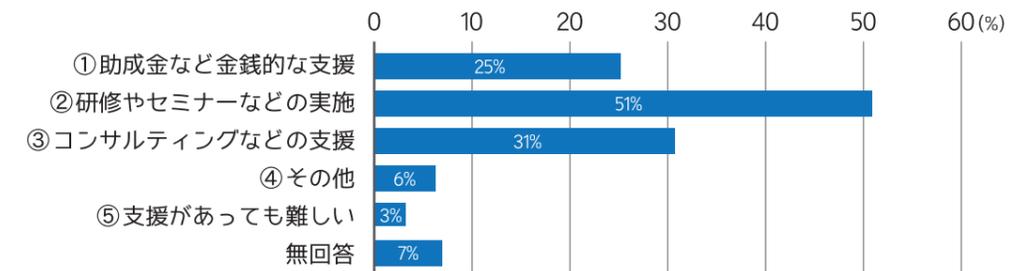


その他意見  
 ・会社全体の意識  
 ・非正規が多く活躍させられない  
 ・男性の同年代より少し下の職員がライバル意識(自分の仕事がとられるのではないかと危惧して?)をもち仕事の邪魔をすること  
 ・情報が入らない など

⑦ 女性活躍への取り組みは進みそうか

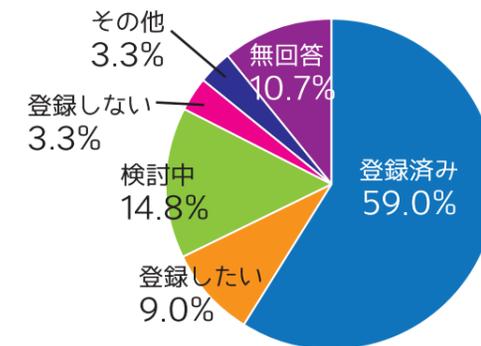


⑧ 県からどのような支援があれば、取り組みが進みそうか(複数回答)



その他意見  
 ・家事代行、病児保育などのサービス誘致  
 ・管理職への川島氏のご講演内容の研修(半ば強制力があるように)  
 ・育児休業取得(男性)を推進する企業に助成金の支援を など

⑨ とちぎ女性活躍応援団へ登録したいか



⑩ 参加者の声

- 40年前から企業で(2か所)働いてまいりましたが、時代の流れをこれ程まで感じる時間はありませんでした。少子化への道を改善できる方法をぜひ考えてみてください。
- とちぎ女性活躍応援団の設立はとても良いことです。しかし設立にも税金が使われていると思います。
- とちぎ女性活躍応援団への取り組みとして具体的なことが見えて良かった。
- とても大切な取り組みだと思います。考えているだけでは何も進みませんから実際に実行できるよう努めていただきたいと思います。
- 中身が大切。具体的な取り組みを打ち出すために現状を変えていかなければと思う。
- 男性にもっと強くその意義を伝えてほしい。女性ばかりでなく。
- 基調講演そしてパネルディスカッションが非常に良く、モチベーションがあがりました。
- 大きなうねりになってほしい。
- 基調講演でのイクボス宣言の取り組みにとっても共感しました。当社もこれから取り組めれば良いと思いました。
- 働き方改革を実践されてきたパネラー、講演者の話は説得力があった。

# (4)広報資料等

## ○開催告知

チラシ



(表)



(裏)

ポスター



## ○当日配布物

エコうちわ (直径220mm)



(表)



(裏)

## 式次第リーフレット



(表面)



(中面)

## ○啓発ブース 会場2階に設置

テーブルに設置

- ・女性活躍に関する資料
- ・企業情報パンフレット



パネル展示 (とちぎ女性活躍応援団情報を展示)

- ・とちぎ女性活躍応援団とは？
- ・とちぎ女性活躍応援団登録方法
- ・とちぎ女性活躍応援団登録団体紹介



## ○横断幕

